



2018年10月31日

各位

会社名 セントラル硝子株式会社  
 代表者名 代表取締役社長執行役員 清水 正  
 (コード4044 東証 第一部)  
 問合せ先 執行役員 経営管理室長 宮内 徹  
 (TEL. 03-3259-7062)

2019年3月期第2四半期連結累計期間の  
業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2018年5月10日に公表いたしました2019年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

## 記

1. 2019年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異  
(2018年4月1日～2018年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (2018年5月10日公表)	百万円 113,000	百万円 3,500	百万円 3,900	百万円 2,700	円 銭 66.53
実績値 (B)	112,370	4,706	5,496	4,292	106.06
増減額 (B-A)	△629	1,206	1,596	1,592	
増減率 (%)	△0.6%	34.5%	40.9%	59.0%	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2018年3月期第2四半期)	110,094	2,691	3,325	1,883	46.29

※当社は、2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、2018年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

## 2. 理由

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、医薬品関連製品の販売が好調に推移したことに加えて、円安の進行による営業外収益の増加、固定資産の譲渡に伴う特別利益の計上等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が前回発表予想を上回りました。

なお、海外経済の動向、原油や原燃料価格の不透明感を踏まえ、通期の業績予想につきましては修正しておりません。

※上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以上